

防災地域建設委員長報告

令和8年9月定例会

防災地域建設委員長報告をいたします。

防災地域建設委員会に付託されました議案の審査結果等について報告いたします。

本委員会に付託されました議案は、「島根県さくらおろち湖周辺スポーツ施設条例の一部を改正する条例」など条例案2件、「県の行う建設事業に対する市町村の負担について」の一般事件案1件、「令和8年度島根県一般会計補正予算（第4号）」など予算案9件であります。

これらの議案について、執行部に説明を求め、慎重に審査いたしました結果、第119号議案「県の行う建設事業に対する市町村の負担について」の一般事件案については賛成多数により、またその他の議案については全会一致をもって、原案どおり可決すべきとの審査結果でありました。

全会一致とならなかった第119号議案「県の行う建設事業に対する市町村の負担について」については、砂防事業などの防災や広域的な役割を果たす事業は、広域自治体である県の責任で行うべきであり、市町村に対する負担金を課すべきではないとの理由から反対であるとの意見がありました。

最終的には、挙手による採決を行ったところ、賛成多数により、原案どおり可決すべきとの審査結果でありました。

次に、議案の審査過程における執行部からの説明、委員からの質疑、意見等のうち主なものについて報告いたします。

第93号議案「令和8年度島根県一般会計補正予算（第4号）」のうち、土木部所管分についてであります。耐震性能向上リフォーム助成について、委員から、制度の周知にあわせて、耐震化や日常的な震災対策に関する意識啓発にも取り組んでほしいとの意見がありました。執行部からは、市町村や建築関係団体との連携を図りながら、地域での学習会など取組を進めていきたいとの回答がありました。

次に、報告事項など所管事項調査における質疑、意見等のうち主なものについて申し上げます。

まず、企業局所管事項についてであります。

執行部から報告のありました「江津高野山風力発電所の民間企業への譲渡について」では、委員から、民間譲渡に対する地元住民の不安を取り除くように努めてほしいとの意見があり、執行部からは、譲渡先の選定にあたっては、選定基準にこれまで実施した地元住民へのアンケート等での意見も踏まえた要件を加えている。また、譲渡後も企業局として事業の状況を確認していくとの回答がありました。

また、「尾原ダム水力発電施設設置・運営事業に係る基本協定の締結について」では、委員から、基本協定の締結に伴い、地元自治体に交付金が交付されるとのことだが、発電はもとより、地域と連携をしながら水源地域の振興を目指してほしいとの意見がありました。

次に、防災部所管事項についてであります。

執行部から報告のありました「令和８年度島根県原子力防災訓練について」では、委員から、自然災害と原子力災害が重なる複合災害に、住民は不安を持っており、訓練では、参加住民の声を丁寧に拾ってほしいとの意見がありました。また、別の委員からは、情報を正しく伝えるということも必要であり、ＳＮＳの活用方法も含め、訓練の中で必要な対応を検討してほしいとの意見がありました。執行部からは、参加住民の意見も聞きながら、訓練で出てきた課題を改善していくことで、避難計画の実効性を高めていきたいとの回答がありました。

次に、地域振興部所管事項についてであります。

執行部から報告のありました「令和７年度市町村決算の概要等について」では、委員から、公立病院の決算状況について質問があり、執行部からは、県内市町村立等の公立病院全体で、入院収益や国庫補助金により総収益は増加しているものの、人件費の増などにより総費用も増加していることから、全体としては赤字決算となっているとの回答がありました。委員からは、地域病院を守っていくため、県としても経営を維持するための情報提供や支援をしてほしいとの意見がありました。

また、委員から、「小さな拠点づくり」の推進について、著しい人口減少、過疎・高齢化が進んでおり、日常生活に必要な機能の維持・確保や地域運営の仕組みづくりに取り組んできたこれまでの枠組みでは、今後の機能低下も懸念されるので、改めて枠組みの再構築が必要ではないかとの意見がありました。

次に、土木部所管事項についてであります。

執行部から報告のありました「島根県生活排水処理ビジョン第６次構想について」では、委員から、汚水処理人口普及率が県の目標水準に達するよう、市町村とも協議のうえ、具体的なアクションプランの作成などの検討をしてほしいとの意見があり、執行部からは、人口減少により、下水道の運営が難しい場合の合併処理浄化槽への移行なども含め、市町村と十分な協議をしながら検討を進めていきたいとの回答がありました。

以上、防災地域建設委員会における審査の概要等を申し述べ、委員長報告といたします。